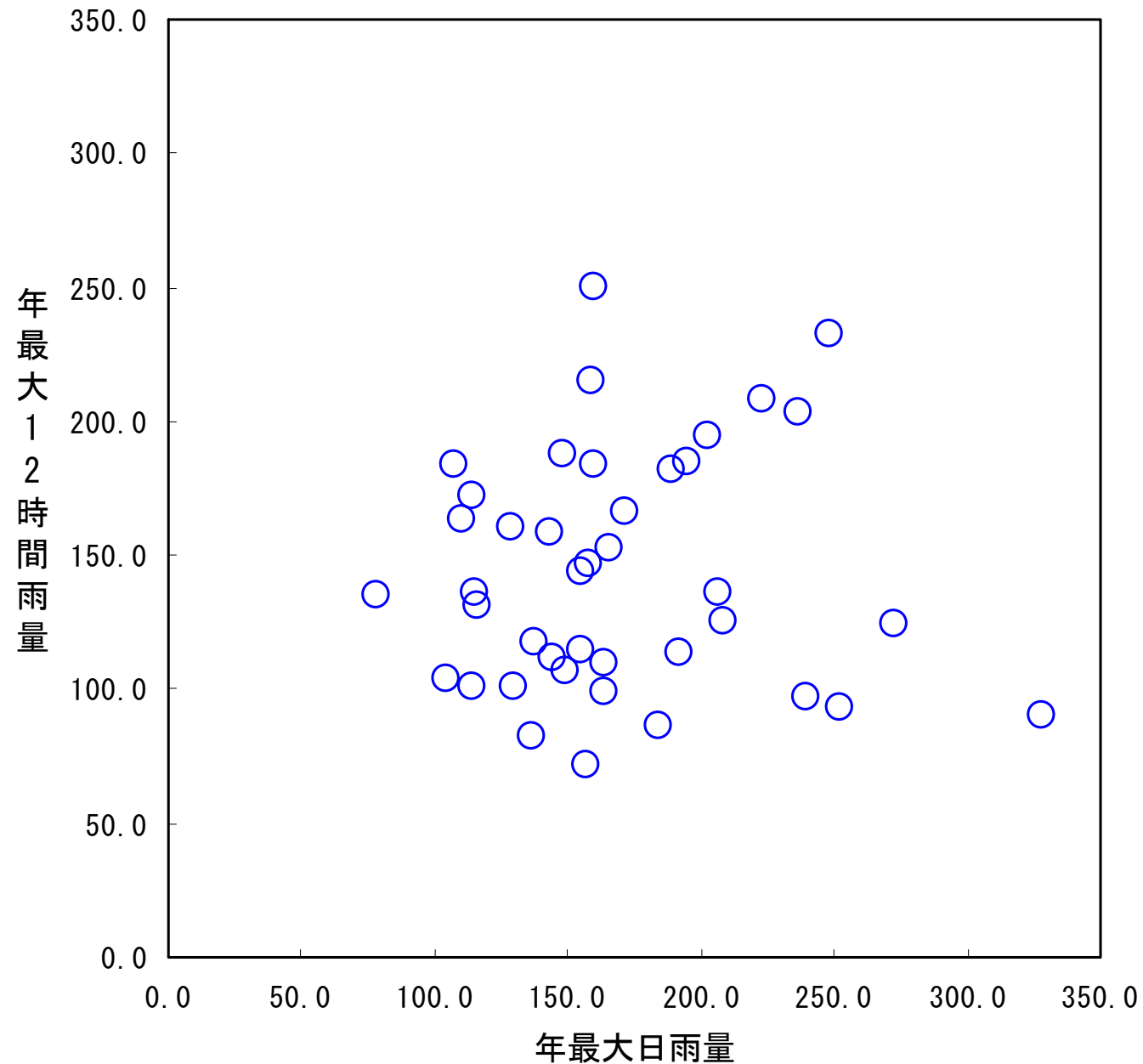


第46回 球磨川水系(第5回目)河川整備基本方針検討小委員会資料の訂正について

委員会資料-3「工事実施基本計画と河川整備基本方針(案)の基本高水のピーク流量の算出方法について」の「日雨量と時間雨量について(P7)」「年最大日雨量と年最大12時間雨量の関係」を説明する相関図についてデータを取り違えていたことが確認されましたので、訂正させていただきます。皆様方には、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

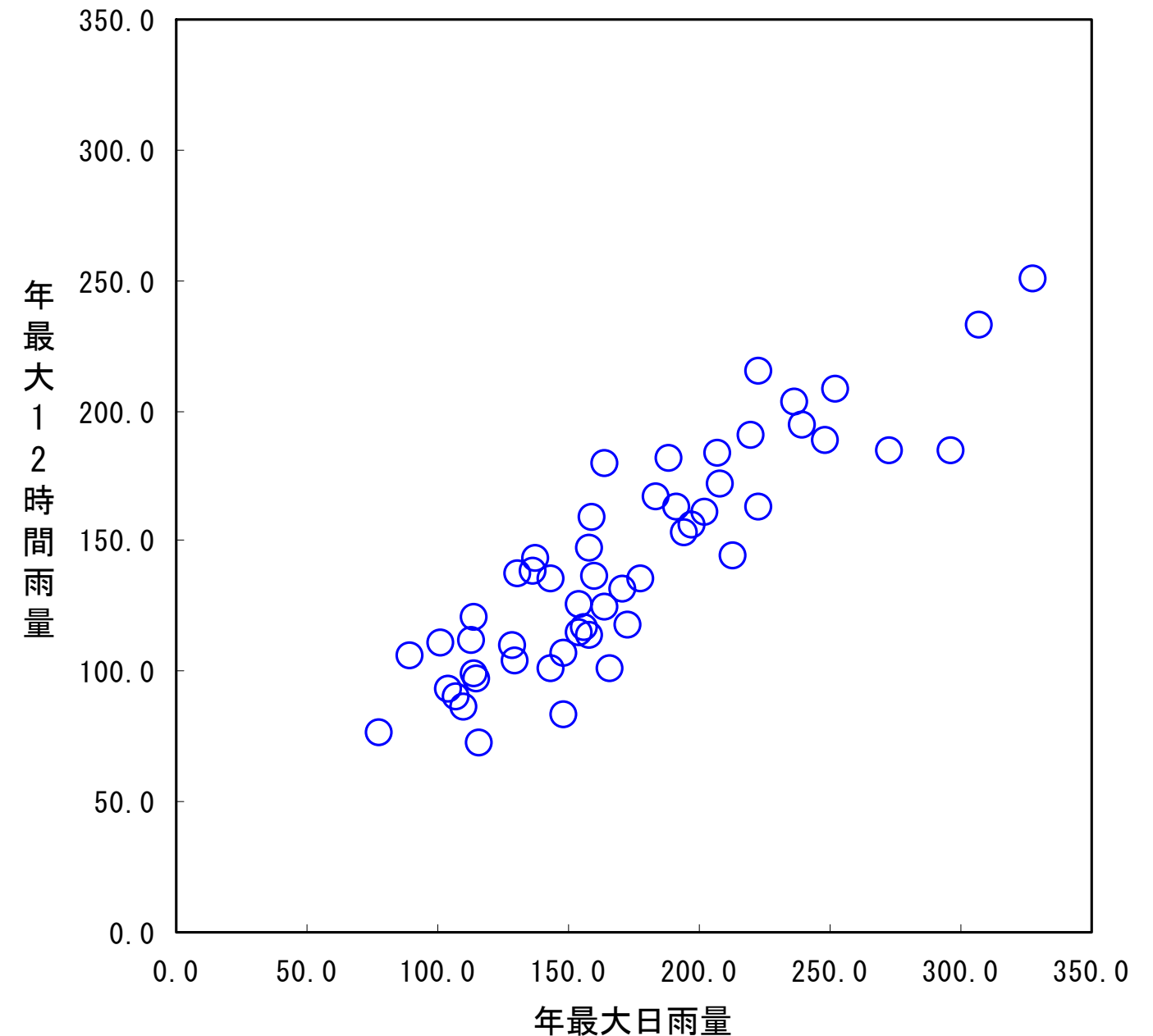
委員会説明資料に使用したグラフ

年最大12時間雨量と年最大日雨量関係



今回訂正のグラフ

年最大12時間雨量と年最大日雨量関係



○日雨量と時間雨量

日雨量：9時から次の日の9時まで（日界：9時）に観測された雨量のこと。
降雨の時間分布は不明

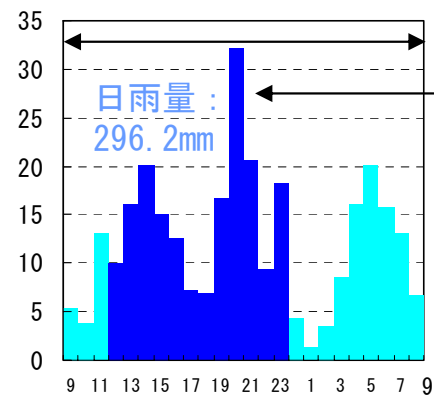
時間雨量：時間毎の雨量。降雨の時間分布が把握可能。

年最大日雨量：年間で最大となる日雨量

年最大12時間雨量：年間で日界にかかわらず最大となる12時間の雨量

12時間雨量が日界をまたがない降雨の例

【平成7年7月洪水】

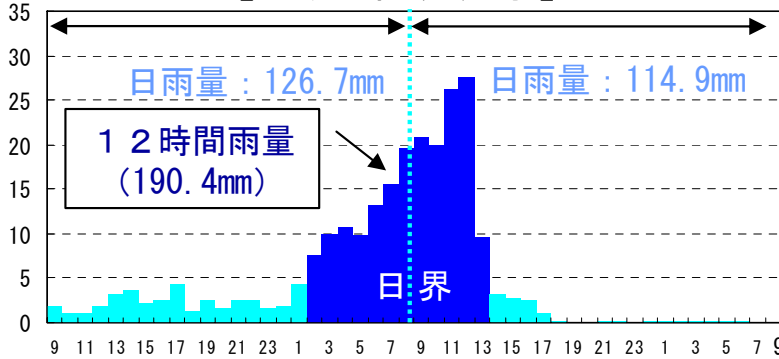


12時間雨量
(184.7mm)

○53洪水中27洪水で12時間雨量が日界をまたいで降っている

12時間雨量が日界をまたぐ降雨の例

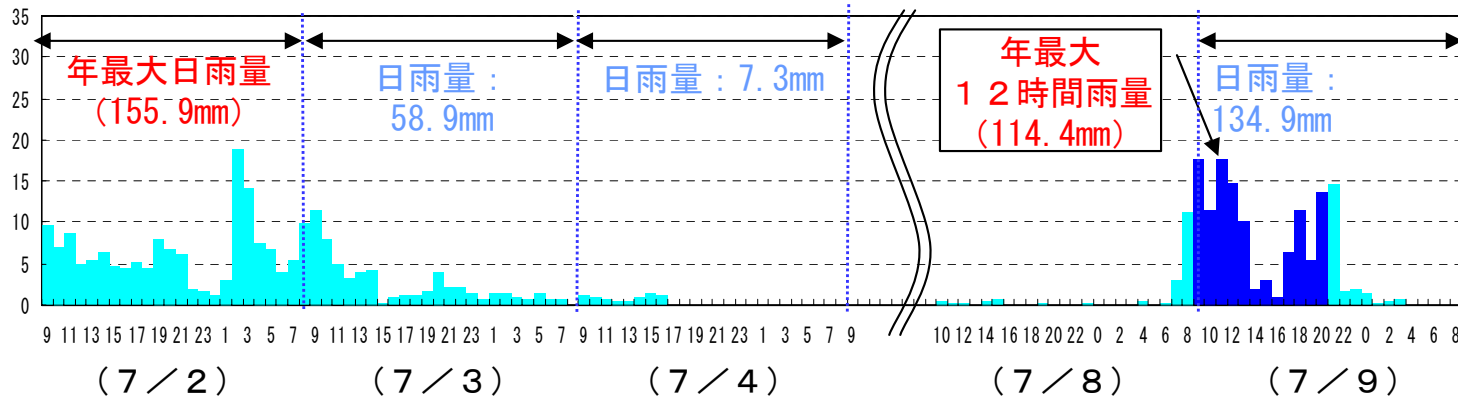
【平成9年9月洪水】



○53洪水中18洪水で年最大12時間雨量と年最大日雨量が異なる日に発生

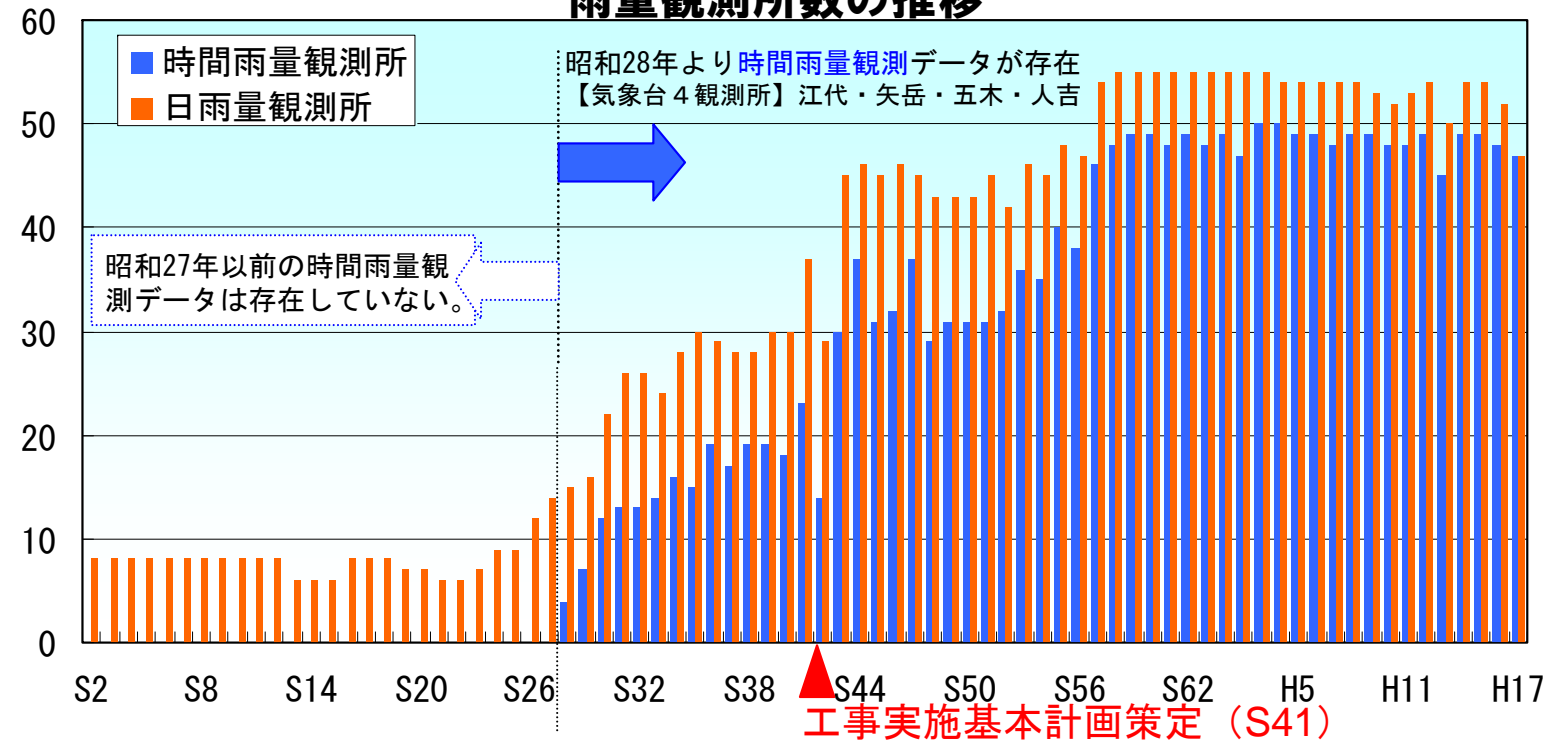
年最大12時間雨量と年最大日雨量の生起日が異なる降雨の例

【昭和60年7月洪水】



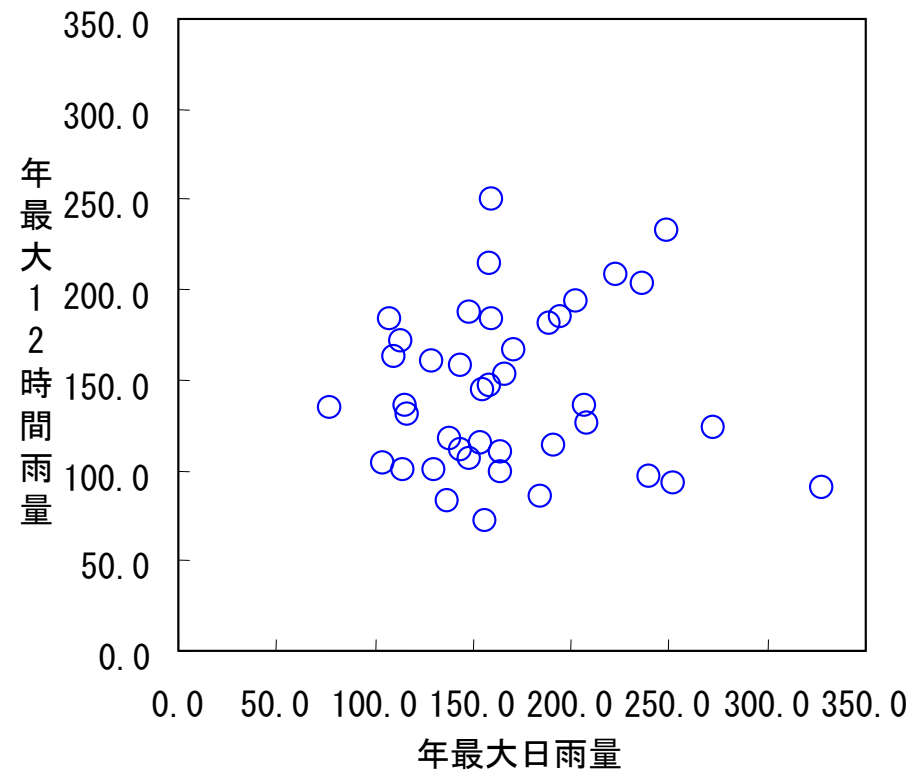
○日雨量と時間雨量データの蓄積状況

雨量観測所数の推移



○日雨量資料：昭和2年～昭和40年（39年間）
○時間雨量資料：昭和28年～昭和40年（13年間）
→時間雨量データの蓄積が少なかったこと、降雨が日界をまたぐ場合があることから
工事実施基本計画では日雨量データを使用

年最大12時間雨量と年最大日12時間雨量関係



○年最大日雨量と年最大12時間雨量は必ずしも同一日に発生しない。また、年最大12時間雨量は日界をまたぐ場合がある。
○日雨量のみのデータでは、年最大12時間雨量の発生時が不明である。

○この様なことから、年最大日雨量と年最大12時間雨量には相関がみられず、推定することは困難。

※データはS28年～H17年の人吉上流域平均雨量。

○日雨量と時間雨量

日雨量：9時から次の日の9時まで（日界：9時）に観測された雨量のこと。
降雨の時間分布は不明

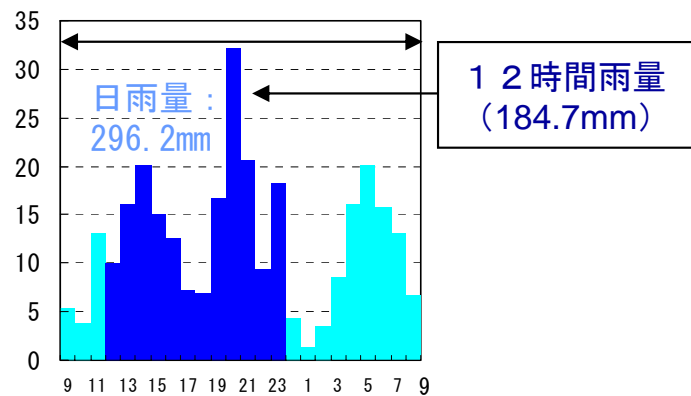
時間雨量：時間毎の雨量。降雨の時間分布が把握可能。

年最大日雨量：年間で最大となる日雨量

年最大12時間雨量：年間で日界にかかわらず最大となる12時間の雨量

12時間雨量が日界をまたがない降雨の例

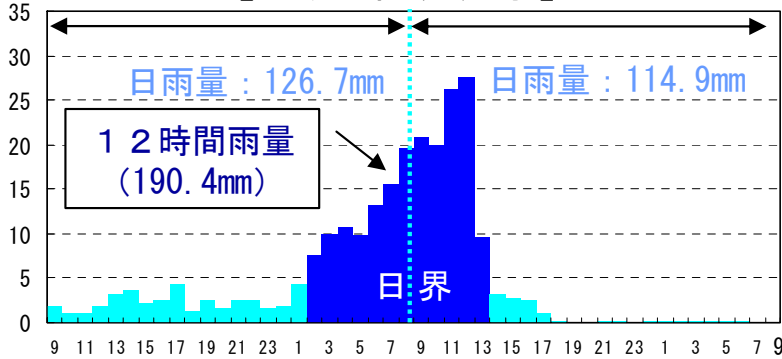
【平成7年7月洪水】



○53洪水中27洪水で12時間雨量が日界をまたいで降っている

12時間雨量が日界をまたぐ降雨の例

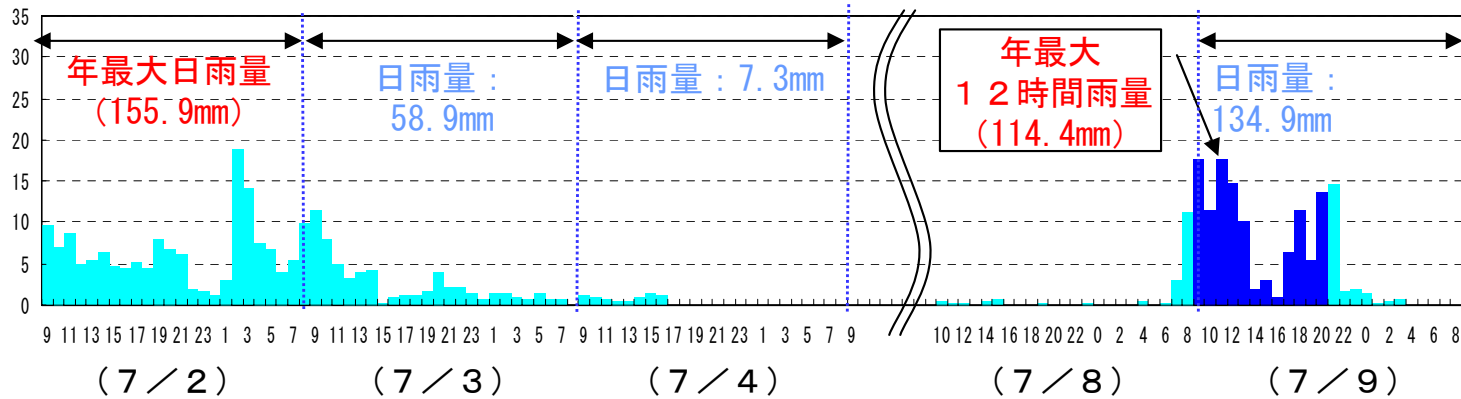
【平成9年9月洪水】



○53洪水中18洪水で年最大12時間雨量と年最大日雨量が異なる日に発生

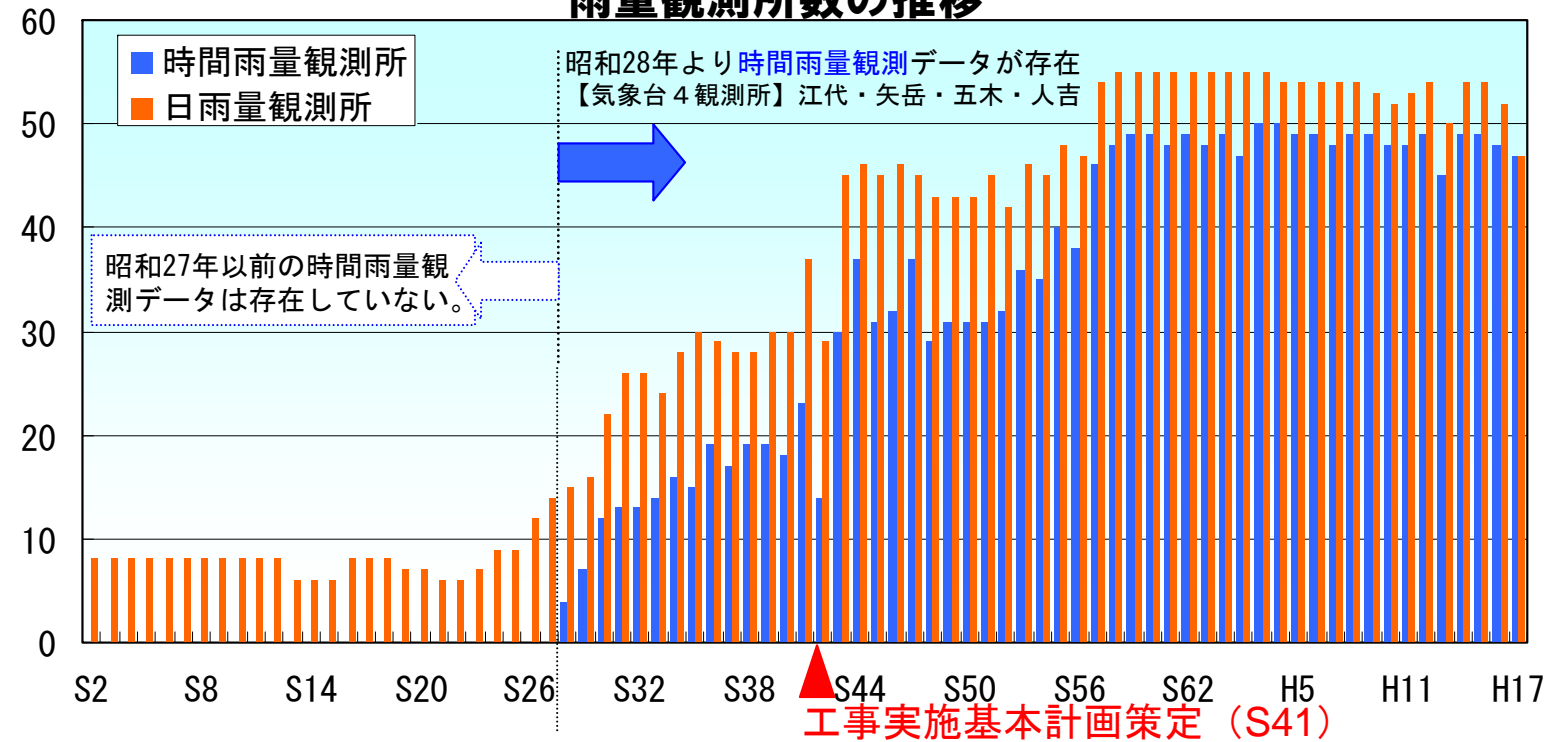
年最大12時間雨量と年最大日雨量の生起日が異なる降雨の例

【昭和60年7月洪水】



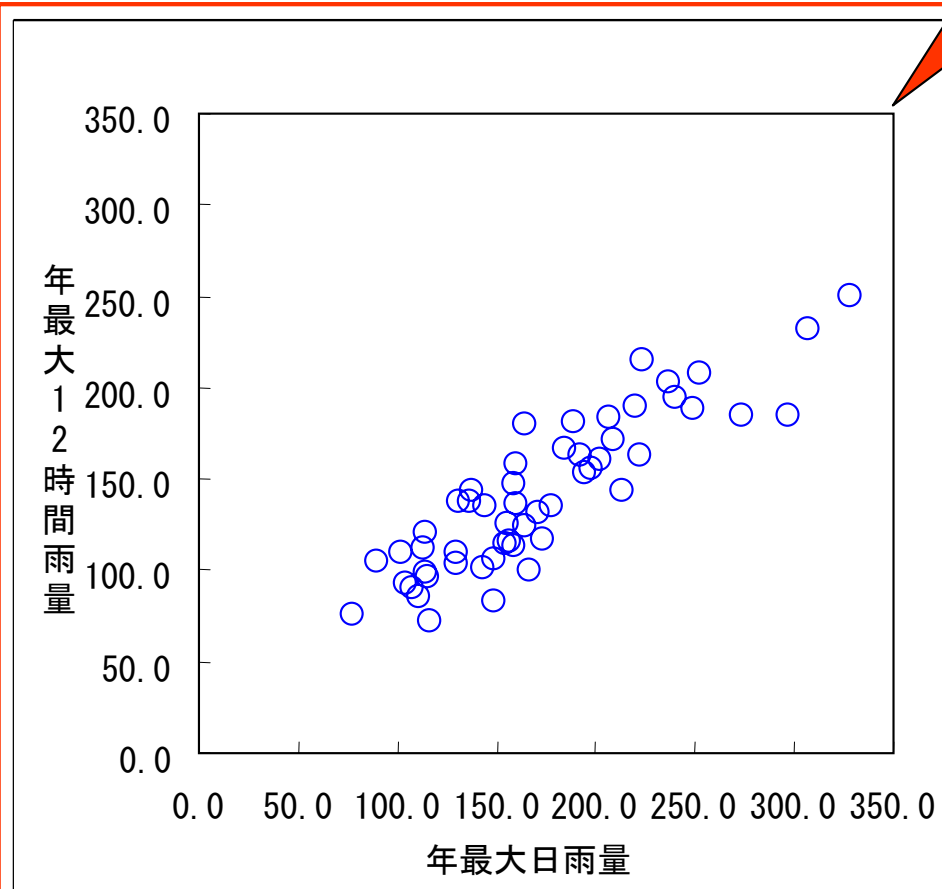
○日雨量と時間雨量データの蓄積状況

雨量観測所数の推移



○日雨量資料：昭和2年～昭和40年（39年間）
○時間雨量資料：昭和28年～昭和40年（13年間）
→時間雨量データの蓄積が少なかったこと、降雨が日界をまたぐ場合があることから工事実施基本計画では日雨量データを使用

修正箇所



○年最大日雨量と年最大12時間雨量は必ずしも同一日に発生しない。また、年最大12時間雨量は日界をまたぐ場合がある。
○日雨量のみのデータでは、年最大12時間雨量の発生時が不明である。
○年最大日雨量と年最大12時間雨量にある程度の相関はみられるが、日雨量に対する12時間雨量は、大きくばらついている。（例えば日雨量150mm程度の場合、12時間雨量は約80～180mm）
上記のことから、年最大日雨量と年最大12時間雨量の関係を明確には説明できないため推定することは好ましくない。

※データはS28年～H17年の人吉上流域平均雨量。